



病院NEWS

no.
363
2014
09/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



ささえる、つながる、リードする。
香川大学医学部附属病院
KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

外来診療時間の拡大について

医事課

平成26年8月1日から、午後診療時間を拡大しました。詳細につきましては、病院ホームページ「外来診療のご案内」を参照して下さい。

URL: <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/gairai/>

また、平成26年9月1日から、初診患者（新患者、科新来患者）の受付時間を以下のとおり延長しましたので、お知らせします。

初診患者受付時間：8時30分～10時30分 → 8時30分～11時00分

第24回香川広告協会広告賞新聞部門奨励賞 受賞

総務課

本院が平成25年5月3日に四国新聞に掲載した求人広告「医志があるか。」が、標記の賞を受賞しました。

この広告賞は、新聞、ラジオ、テレビ、印刷、サイン・ディスプレイ造形の5部門からなり、本院は新聞部門で奨励賞を受賞しました。7月7日に高松市内のホテルで表彰式が開催され、本院から筒井看護部長が出席し、香川広告協会竹崎会長から賞状と盾を授与されました。

本院は、地域の方へ安全で質の高い医療を提供するため、優秀で「志」のある医療人を求めて様々な広報・求人活動を行っており、その活動の一環が表彰されたことはとても名誉なことで、病院職員にとっても励みになります。

これを機会に、地域の方へ本院の使命を広報することが優秀な医療人確保につながり、ますます地域に貢献できる病院を目指します。



▲受賞広告



▲盾



▲表彰式



▲賞状

第14回香川大学医学部・香川県連絡会議を開催

総務課

去る7月25日（金）に第14回香川大学医学部・香川県連絡会議が、本学医学部管理棟5階大会議室で開催されました。

今回の会議では、横見瀬病院長が座長を務め、横見瀬病院長及び香川県健康福祉部長 大津 様の挨拶の後、活発な議論が交わされました。

議題は、香川県から「難病対策への協力について」及び「精神保健福祉行政への協力について」の2議題が提案され、資料に基づく説明の後、香川県から本学に対して提案事項の協力要請が行われました。



▲会議の様子

次に、本学から「香川県による寄附講座等の現状と今後について」、「地域医療推進枠及び奨学生の現状について」、「県立病院への本学医学部卒業生の就職状況について」及び「香川県立中央病院への本学医学部卒業医師の増員加速について」の4議題が提案され、資料に基づき説明すると共に、大森地域医療教育支援センター長、新野客員教授（地域連携精神医学講座）、横田客員准教授（感染症講座）及び鎌田客員准教授（神経難病講座）から「香川県による本学寄附講座等の取り組み」について説明が行われ、本学から香川県に対して提案事項の協力要請が行われました。

最後に、本学と香川県が今後も情報交換し、協力していくことが再確認され、閉会しました。

心臓血管センターの診療体制

センター長 河野 雅和

心臓血管センターでは循環器内科、心臓血管外科、血管内科の3科が一心同体となり、さらに過渡期は腎臓・血管透析内科も一体となってシームレスな集学的診療体制を維持していきます。

循環器疾患一般を診療しますが、急性冠症候群や急性心不全については救命救急センターと連携し、24時間体制で対応します。大動脈解離、感染性心内膜炎、重症心不全、重症高血圧、高難度冠動脈形成術、肺塞栓を含む深部静脈血栓症、末梢動脈疾患に対しても迅速かつ最上の治療を行います。

心臓血管外科では心臓バイパス術、弁膜症手術、大動脈手術を最先端の技術を用いて、最善の治療を提供するだけでなく、心房細動などの不整脈に対する手術、さらに重症心不全に対する再生医療を組み合わせた、左室形成術などを行い、極めて良好な成績を得ています。

また、不整脈に対しては、電気生理学的検査（EPS）、カテーテルアブレーションや、ペースメーカ、植込み型除細動器（ICD）、両心室ペースメーカ植込み術（CRT）を行っています。

心エコー、心臓カテーテル検査による心機能評価を基盤に、心筋代謝や心筋・大動脈等の炎症の評価のためのPETを含む核医学的アプローチ、高分解能のCT、MRI装置を用いた画像診断により、正確な病態把握と治療の最適化を図っています。特に心エコーは緊急当日エコーも実施し、虚血性心疾患を含めて、迅速、正確な診断を目指しております。

なお、心臓血管センターでは、従来の教授、准教授回診に加えて、センター長の Weekly Round（週一回のセンター巡視）を毎週水曜日の午後に行います。心臓病の最上の診断、治療と共に患者様には最高の満足感を得ていただけるように、きめ細かい医療サービスを提供したいと考えております。



◆ 新病棟



体表にキズのない内視鏡手術を御存じですか？

消化器内科 講師 森 宏仁

軟性内視鏡（いわゆる胃内視鏡・大腸内視鏡）は、診断面においては80-100倍拡大の機能を搭載した拡大内視鏡と特殊な光を搭載した特殊光拡大内視鏡が普及してきました。これまで腫瘍の一部を採取し（生検）病理医の診断結果を待っていましたが、特殊光拡大内視鏡は、通常の光では見えない癌を特殊光で発見しさらに拡大観察し、生検なしに診断をその場ですることができるようになりました。香川大学では、すべての内視鏡検査で、このNBI拡大内視鏡を採用しています。これにより、不必要な生検やポリープ切除がなくなりました。治療面では、癌の深さの程度によっては、10cmを超える大きな腫瘍も、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)により、電気メスで病巣を切除する体表にキズない軟性内視鏡手術が普及しました。要求される内視鏡技術(切開・剥離・止血)は、外科手術と同様に高度技術であり日本で開発されました。世界的にも日本のESD技術は非常に高く、指導医は海外に指導に行っています。ESDではどの部位のどの大きさの食道癌、胃癌、大腸癌でも切除が可能となりました。患者さんの体にやさしい軟性内視鏡治療・手術です。ESDの特徴は、電気メスで筋層のみ残し、腫瘍をはぎ取って切除し、大きな癌病巣を一括切除できる点です。切除標本のより正確な病理学的検討により術後再発などはなくなりました。全周性の食道癌や10cmにも及ぶ胃癌、大腸癌も、麻酔科医の管理のもと全身麻酔下で切除しています。香川大学医学部消化器・神経内科では、中四国方面からご紹介いただいた早期消化管癌の患者さんに、高度なNBI拡大診断と難治症例のESD切除を多数施行し良好な結果を得られています。また、最近保険収載された腹腔鏡・内視鏡・合同手術(LECS)といった、内視鏡医と外科医が一緒に手術場で協力し、最小限の切除範囲で腫瘍を切除することも可能です。ESD、LECSともに高度な技術を必要とします。香川大学消化器科ではESD、LECSともに多数の症例を経験しています。

毎日新聞「四国健康ナビ」H26.7.16掲載

手根管症候群の手術

整形外科 講師 加地 良雄

良く知られている手の疾患に「手根管症候群」があります。これは手首にある手根管というトンネルで正中神経という神経が圧迫され、手がしびれる疾患です。飲み薬などで良くならなければ「手根管開放術」という手術で神経の圧迫を解除しますが、頻度が高い疾患なので、ご自身やお知り合いでこの手術を受けられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

この手根管開放術には、①手のひらに大きな切開を加える方法（従来法）、②切開を縮小して行う方法（小切開法）、③内視鏡を用いてわずかな切開で行う方法（鏡視下法）などがあり、手術に際しては、いずれの手術を受けるかを選択する必要があります。従来法は広い視野が得られるので最も安全かつ確実性の高い方法です。しかし傷が大きいので、傷あとが目立ったり、傷の痛みが残ったりすることがあります。そこで小切開法や鏡視下法が開発されましたが、これらは従来法に比べ手術の難易度が高くなります。特に鏡視下法は最も傷が小さいため、抜糸も早くでき、傷あともほとんど残らない長所がありますが、小切開法よりもさらに難易度が高くなるため、神経を損傷したり、手根管の開放が不十分になったりするリスクが少し高くなります。そのため他の臓器の内視鏡手術と同様に手技を十分に習得している施設で手術を受ける必要があります。

当院では小切開法と鏡視下法を主に行っていますが、どちらを選ぶかは十分に説明したうえで、ご本人に選択して頂いています。手根管症候群は女性に多いため、傷あとが残りにくく、水仕事などの家事を早く行える鏡視下法が当院では多く選ばれる傾向があります。しかし、いずれの手術にも長所と短所があり、また施設によって得意としている手術、最善と考えている手術に差があるため、手術が必要と言われた際には、主治医の説明をよく聞き、十分に相談したうえで選択されるのが良いと思います。

毎日新聞「四国健康ナビ」H24.10.24掲載

第7回香川県がん診療連携協議会

中核病院機能強化支援室

平成26年7月31日(木)香川県社会福祉総合センターにおいて第7回香川県がん診療連携協議会が開催されました。この協議会は、都道府県がん診療連携拠点病院である本院を中心に、県内の地域がん診療連携拠点病院（香川県立中央病院、高松赤十字病院、香川労災病院、三豊総合病院）、香川県及び香川県医師会をメンバーとして、香川県におけるがん診療連携の強化及びがん医療の均てん化を推進することを目的に開催されます。

本協議会において、1)がん対策推進基本計画で重要課題として「小児へのがん対策の充実」が挙げられていることから、四国こどもととなの医療センターに本協議会への参画、2)国の規約の改正に伴う本協議会の設置要綱の改正、3)香川県内の拠点病院間でのPDCAサイクルの確保について活発な議論がなされました。本院の合田腫瘍センター長から国が施策として推進しているがん診療拠点病院等の整備及び緩和ケアの推進についての報告、各部会（地域連携・バス、院内がん登録、相談支援、緩和医療、研修・教育、情報・広報、臨床研究）から平成25年度の事業実施報告が行われました。また、香川県から第二次香川県がん対策推進計画アクションプランの策定と計画の進捗状況等について報告がありました。

がんに関するご相談のことなら がん相談支援センターへ

香川大学医学部附属病院 087-891-2473(直通)
香川県立中央病院 087-811-3333(内線2110)
高松赤十字病院 087-831-7101(内線1171)
香川労災病院 0877-23-3111(内線3100)
三豊総合病院 0875-52-3366(内線1170)
(小児がんの相談)
四国こどもととなの医療センター地域連携室 0877-85-7788

がんに関する相談について患者さんやご家族のほか、どなたでも無料でご利用できる窓口です。上記の病院で診察を受けていない方もご利用できます。

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長 医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っております。患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H26.9～11月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
9/6 土	13:00～16:00	サンポートホール高松	秋の「すいみんの日」市民公開講座2014香川	地域連携精神医学講座	(087)891-2167
9/9 火	14:00～15:15	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	肝臓病教室	地域連携室	(087)898-2417
9/19 金	14:00～16:00	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん相談支援センター	(087)891-2473
9/20 土	13:30～16:45	かがわ国際会議場	平成26年度 日本肝臓学会 肝がん撲滅運動—市民公開講座—	消化器内科	(087)891-2156
10/6 月	18:00～19:15	医学部管理棟4階会議室1	緩和ケア学習会・緩和ケアエキスパート研修	腫瘍センター	(087)891-2054
10/13 月	14:30～16:30	サンメッセ香川2階 サンメッセホール	市民公開講座 ～がん患者をささえるために 今みんなでがんに向き合おう～	中核病院機能強化支援室	(087)891-2452
11/11 火	14:00～15:15	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	肝臓病教室	地域連携室	(087)898-2417
11/21 金	14:00～16:00	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん相談支援センター	(087)891-2473
11/23,24 日・月	終日(9:00～17:15)	医学部講義実習棟	緩和ケア研修会	中核病院機能強化支援室	(087)891-2452

平成
27年度

看護職員募集

看護師・助産師

80名募集

受付期間

平成26年7月1日(火)～
平成27年1月13日(火)

試験日

応募締切日

7月19日 土

7月8日 火

8月22日 金

8月12日 火

10月24日 金

10月14日 火

11月28日 金

11月18日 火

平成27年1月23日 金

平成27年1月13日 火

お問合せ先 **087-891-2013** (医学部総務課人事係)

平成
27年度

薬剤師募集

常勤職員 若干名
非常勤職員 募集

試験日

応募締切日

9月30日 火

9月19日 金

17:00必着

※詳しくは<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/saiyo/syokuin/>をご覧ください。

お問合せ先 **087-891-2013** (医学部総務課人事係)

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、岡田(総務)、加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、濱本(外来)、
芳地(薬剤)、松本(看護)、村上(病棟)、安友(管理)、横井(情報)、吉野(医事)、〔委員長 横見瀬病院長〕